

## 総合診療医養成特化コース

### 【対象】

#### A. 初期研修医

札幌医科大学附属病院、研究教育拠点病院で初期臨床研修を行う者。

#### B. 後期研修医

札幌医科大学地域医療総合医学講座後期研修プログラムを選択する者。  
研究教育拠点病院で総合診療の専門医認定プログラムを選択する者。

### 【初期研修における総合診療養成特化コース】

通常の初期臨床研修プログラムに加え、毎週水曜日、木曜日 7:30～のプライマリ・ケア  
レクチャー、プライマリ・ケアカンファレンスへ参加し、総合診療の知識、思考方法を学びます。  
また日本プライマリ・ケア連合学会の主催する学生・研修医のための家庭医療学夏季セミナー、  
春季・秋季生涯教育セミナーの参加（選択）により、総合診療についての知識・技能を修得しま  
す。

### 【後期研修における総合診療養成特化コース】

通常の後期臨床研修プログラム(\*)に加え、「地域に根ざした研究」へ参加し、論文作成を目標と  
します。研修プログラムを通して家庭医療専門医資格を取得すると同時に、研究への参画により  
研究手法の習得を目指し、最終的には臨床研究の視点を獲得した、総合診療の専門医を目指しま  
す。

#### 1. 研究

プログラム選択後、当学教員と研究内容の相談を行い、研究計画を策定。その後、一定期間研究  
教育施設に在籍し、当学教員の指導を受けると同時に、実地でのデータ収集、分析を行います。  
論文作成を最終目標とします。

#### 2. 大学院講義の受講

本コース履修者は、大学院履修生でなくても、大学院の共通講義、e-learning を受講できます。

#### 3. セミナー

後期研修プログラムにおいて予定されている総合診療に関するセミナーに加えて、さらに研究に  
関する総合診療リサーチカンファレンス（年2回）にも参加することができます。

#### (\*)

特化コースの母体となる後期臨床研修プログラムは特徴として、北海道全域にわたる多数の施設  
で地域に基づいた研修ができると同時に、大学教員が研修の方向や内容を担保するためのフィー  
ドバックを随所に含んでいます。詳しくは札幌医科大学地域医療総合医学講座ホームページから  
詳細をダウンロードしてください。

## 総合診療マインドを持つ専門医養成コース

### 【対象】

札幌医科大学附属病院における内科系後期研修医のうち、家庭医専門医以外の専門医の取得を目的としている者（診療医、研究生、大学院生を含む）。

### 【研修プログラム】

総合診療医以外の専門医資格を取得し専門的診療を行うとともに、地域に求められる基本的な総合診療能力を有し、診療連携ならびに地域における臨床研究に関してリーダーシップを発揮できる人材の育成を目的としたプログラムです。総合診療以外の領域についてもe-learningで研修することが可能です。

#### 1. 外来総合診療研修

専門領域の外来（専門外来）でも当該領域以外の疾患が原因と思われる症状、訴えについては、自身で診断し治療方針を立案したうえで総合診療科外来へコンサルテーションを行い、そのフィードバックを受ける。

#### 2. 病棟総合診療研修

後期研修医が研修中の専門診療科に入院となった症例にcommon diseaseの合併がありその治療が必要な場合、また入院後にcommon diseaseを発症した症例について、総合診療科へのコンサルテーションを通して、入院中の診療、退院後の療養に関する注意や配慮（かかりつけ医や介護サービス提供者との連携）について研修する。また総合診療科のプライマリ・ケアレクチャー、プライマリ・ケアカンファランスへ参加する（選択）。

#### 3. セミナー

本コースの履修者（大学院生以外も含む）は本学大学院の共通講義（臨床医学セミナー、医学研究セミナー等）を受講（e-learningを含む）することができます。

#### 4. 研修単位

外来総合診療研修でのコンサルテーション症例の要約4例で0.2単位とする。病棟総合診療研修では1症例の退院サマリーにつき0.2単位とする。大学院生の場合、本コースの単位は、大学院共通講義の臨床医学セミナーの単位、また地域医療（設備等で関連医療機関での研修が不可能な場合の「地域医療の学内研修」）の単位としても認められます（その場合、本プログラムの3.5単位を大学院の1単位に換算）。大学院生以外の場合には大学院共通講義を1コマ受講することにより0.2単位を付与します。本コースにおいて所定の単位（3年間に20単位以上[そのうち15単位以上は臨床研修による単位]）の履修により修了証を交付します。

### Ⅲ 臨床研究について

総合診療に関する臨床研究に関してリーダーシップを発揮できる人材の育成が本事業の重要な目的となっています。いずれの研修コースを履修する研修医（大学院生を含む）も、総合診療人材養成研究部門・運営委員会が企画し、学内の各講座ならびに地域医療機関と協力して推進する総合診療に関する研究（研究課題は本事業のホームページに掲載）に参加し、臨床研究に必要な知識・技術を修得することができます。また、実際の研究に直接参加しない場合でも、研究経過・結果の発表と関連テーマについての講演から構成される総合診療リサーチカンファレンス（年2回予定）に出席し、研究への理解を深めることができます。